

第24回米原市男女共同参画審議会次第

令和6年11月7日(木) 13時30分～
米原市役所本庁舎 4階 会議室4A

- 1 開会あいさつ（総務部長）
- 2 女性市議会議員等との意見交換会

3 審議事項

女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申（案）について
（資料4）

4 その他

5 閉会（15：30予定）

<資料一覧>

事前 配布	資料 番号	配 布 資 料
○		次第
○	資料 1	米原市男女共同参画審議会委員名簿
○	資料 2	米原市男女共同参画審議会規則
○	資料 3	女性市議会議員さんとの意見交換会
○	資料 4	女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申(案)について
		座席表
	その他	米原市人権センター S・Cだより (11月号)

米原市男女共同参画審議会委員名簿

資料1

(敬称略)

氏名	所属等	委員の構成
おざわ しゅうじ 小沢 修司	京都府立大学 名誉教授	(1)学識経験者
なかむら まり 中村 真理	米原市商工会女性部	(2)男女共同参画に関する団体の構成員
にしむら まさこ 西村 正子	米原地区更生保護女性会	(2)男女共同参画に関する団体の構成員
つつみ たつや 堤 辰也	米原市人権教育推進協議会	(2)男女共同参画に関する団体の構成員
いぶき てるこ 臈吹 照子	長浜人権擁護委員協議会米原地区部会	(2)男女共同参画に関する団体の構成員
たにもと まさのぶ 谷本 政信	米原市民生委員児童委員協議会連合会	(2)男女共同参画に関する団体の構成員
ときた さとし 時田 智史	米原市社会福祉協議会	(2)男女共同参画に関する団体の構成員
きしね ちよみ 岸根 千代美	市民委員(一般公募)	(3)公募による市民代表者
つかだ たかこ 塚田 多佳子	なでしこネット	(4)市長が適当と認める者
わたなべ ゆう 渡部 優	なでしこネット	(4)市長が適当と認める者

事務局

人権政策課	宮 川 巖
	筒 井 康 一
	澤 恵 子
	谷 川 俊 浩
	堀 安 奈
男女共同参画センター	山 田 克 己

(趣旨)

第1条 この規則は、米原市付属機関設置条例(平成28年米原市条例第3号)第2条の規定により設置する米原市男女共同参画審議会(以下「審議会」という。)の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(委員の構成)

第2条 審議会の委員の構成は、男女のいずれか一方の人数が、委員の総数の10分の4未満としないようにしなければならない。

(会長および副会長)

第3条 審議会に、会長および副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長は会議の議長となる。

2 審議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて、その意見もしくは説明を聴き、または必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第5条 審議会の庶務は、総務部人権政策課において処理する。

(その他)

第6条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

付 則

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(会議の招集)

2 米原市付属機関設置条例第4条第2項に規定する委嘱後初めて開かれる会議は、第4条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

女性市議会議員さんとの意見交換会

資料3

令和6年11月7日(木)13:30~
米原市男女共同参画審議会

現彦根市議会議員

現長浜市議会議員

元米原市議会議員

【Q&A】

質問1 市議会議員になろうと思われたきっかけは？

質問2 選挙運動期間中に感じたことは？

質問3 実際に議員として活動されている中で感じている(感じた)ことは？

質問4 女性が議員になるための障壁となる(なった)ものは？

質問5 女性議員候補者を増やすために必要・有効だと思われることは？

※おひとり10分程度で、質問1~5についてお話いただいた後、みなさまとの意見交換を行います。なお、意見交換会は、1時間程度を予定しています。

【参考】	彦根市議会の女性議員数:6人/24人中(25%)
	長浜市議会 // :4人/21人中(19%)
	米原市議会 // :0人/15人中(0%)

令和6年(2024年) 月 日

米原市長 様

米原市男女共同参画審議会

会長 小沢修司

女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等について(答申) (案)

令和6年(2024年)5月9日付け米人政第78号で諮問のありました女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等について、慎重に審議を重ねた結果、次のとおり取りまとめましたので答申します。

人口減少や少子高齢化社会の中で、米原市が持続可能な社会を実現し、まちの活性化等を図るためには、市民一人一人が個性に応じた多様な能力を発揮できる社会を構築していく必要があります。特に市民の構成の半分を占める女性の潜在的な能力を生かすことが不可欠です。

しかしながら、第4次米原市男女共同参画推進計画における審議会等の女性委員の参画も目標を満たしていません。また、2024年度に発表された日本のジェンダーギャップ指数は、146か国中118位と世界的に低い水準となっており、その主な理由とされる女性の政治参画の遅れが指摘される中、米原市においても、県内13市の中で、唯一の女性議員が不在であり、多様な考え方が市政に反映され、民主的な理論の場の創出となっているとは言い難い状況にあります。

については、社会・政治分野における女性活躍の進展および更なる男女共同参画社会の構築に向けた施策を効果的かつ積極的に推進し、性別にとらわれることなく、誰もがあらゆる分野に参画し、議会等に女性が参画することにより、より暮らしやすい地域社会の実現に向けて、下記の事項に取り組まれるよう要望します。

記

1 多様な人材の社会進出および政治参画への推進

人口減少や少子高齢化等、米原市を取り巻く環境はこれまでも増して大きく変化しており、今後もこの状況が続くと想定される。このことから、持続可能でより暮らしやすい地域社会を実現するためには、女性の社会進出および政治参画等、柔軟な対応と先を見通した新たな発想で人口減少に立ち向かう取組を進めること。

2 周囲の理解増進を図るための地域等の環境整備

男女共同参画社会を推進していくためには、家庭・地域・学校などあらゆる場において男女共同参画に関する認識を高めるため、今なお残る根強い固定的な性別役割分担意識の見直しや性差に関する偏見の解消、また、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を生じさせない働きかけを行うことが必要である。多様な人材がその能力を発揮できるよう啓発および情報発信等に努めるとともに市民一人一人の意識改革が図れる取組を進めること。

3 各種審議会等への女性参画の推進

各種審議会は、市の主要施策等を審議し、市民の意見を行政運営に反映させる役割を担っているが、各種審議会等への女性参画は、第4次米原市男女共同参画推進計画における令和8年度終期の目標達成は難しい現状である。市は、推進計画の目標達成に向け、より一層の積極的な女性参画を進めること。

4 政治参画への関心や理解の向上

活力ある豊かなまちに発展していくためには、多様な意見が政治や社会の政策・方針の決定に公平かつ公正に反映されることが必要であることから、政治分野における女性の参画は重要な課題であると言える。男女共同参画社会の実現に向けた人材の発掘や女性活動団体等のネットワークづくりなどを通し、女性ならではの視点を生かした市政に参画する機会を創出するための人材育成講座や政治入門塾等を開催し、政治等への関心と理解を深めることができる取組を行うこと。

5 誰もが安心して議員活動等ができる環境の整備

平成30年5月23日に施行した「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」は、令和3年6月16日に改正施行され、地方公共団体の責務の強化、妊娠・出産・育児・介護等の両立を支援する環境整備、ハラスメント等への問題対応を新たに設けている。

議員および議員候補者となった人材等が、より活躍できるよう、様々なハラスメント被害の予防および周囲を含めた理解の増進を図るための研修等を開催するとともに、被害等に関する相談窓口の設置や、感染症のまん延や災害発生等の状況下における社会経済および議会活動の継続、育児・介護等のケアに携わる女性や若者等、多様な人材の議会参画の促進効果を推進するためのオンライン活用による議会参加など、環境の整備について議会と連携し推進すること。